

きょうハレの日、

文化庁京都移転記念事業

地域が守る伝統芸能を次世代に継ぐ



京都伝統文化の

夢舞台

令和5年11月11日(土)

12:30~17:00

会場： 京都府丹後文化会館・峰山地域公民館

時間： 峰山地域公民館(体験教室) 12:30-14:20/開場 12:00
京都府丹後文化会館(ステージ) 14:30-17:00/開場 14:00

出演： [ゲスト] 能「敦盛」(シテ敦盛 古橋正邦 ワキ蓮生法師 原陸、
企画運営:能楽舎、協力:伝統音楽普及促進事業実行委員会)
[団体] ちりめん小唄踊り保存会 「貴方まかせに」「丹後ちりめん小唄」
宮津おどり振興会 「子供歌舞伎 寿式三番叟」「竜宮音頭」
吉原太刀振保存会 「吉原の太刀振」
三輪山保存会・亀岡祭山鉾連合会 「亀岡祭曳山囃子」

主催： 文化芸術発信強化実行委員会 / 文化庁連携プラットフォーム

お問い合わせ先 | 京都伝統文化の夢舞台運営事務局(平日 10:00-17:00 土日祝休業)
メールアドレス: kyotoyumebutai@tts.co.jp
電話: 03-4540-4300

入場無料 (チケットシステム Live Pocketでの無料チケット取得が必要です)

Live Pocket販売サイト: <https://t.livepocket.jp/e/4jk80>



出演団体・保存会名

ちりめん小唄踊り保存会

「貴方まかせに」「丹後ちりめん小唄」

小学生、中学生たちが、丹後に伝わる、丹後ちりめんを唄った曲の踊りを大切に、受け継いでいくことを目指し、練習している。京丹後市文化協会の舞台芸能祭や地域のイベントの出演、施設への訪問等の活動も積極的に行っている。同年代の誰よりも、着物を身近に感じているからこそ、着物文化をより多くの方々に発信できると考え活動を続けている。



宮津おどり振興会

「子供歌舞伎 寿式三番叟」「竜宮音頭」

「丹後の宮津でピンと出した」と言う特色のある囃子詞で有名な宮津おどりは、郷土芸能の粋として多くの人々から絶賛されてきた。平成30年に宮津市無形民俗文化財に認定。昭和31年に振興会が結成され以後、約66年にわたり保存継承、普及発展、観光宮津のPRを目的に活動を続けている。近年は、後継者の育成にも力を入れている。



吉原太刀振保存会

「吉原の太刀振」

吉原の太刀振は、丹後国の田辺城町の産土神(うぶすなかみ)である朝代(あさしろ)神社の秋の例大祭(11月3日)に4年に一度奉納する舞鶴市を代表する民俗芸能。由来は、細川幽斎公が関ヶ原の戦いの前哨戦となった田辺城の籠城戦において、西軍(石田三成)に囲まれた城へ吉原の漁民が海から攻める敵を見張り、兵糧を運び込むなど戦いに貢献し、その戦功により籠城戦ぶりを伝えた型を振るのを許されたのが始まりとされている。



三輪山保存会・亀岡祭山鉦連合会

「亀岡祭曳山囃子」

三輪山鉦は11基ある亀岡祭りの山鉦の中で最も造営年代の古い山鉦で、豪華な懸装品を見せる趣向となっている。祇園祭りが源流ではあるが、丹波亀岡独自の変遷を経ている。山鉦の構造的な工夫に加え、囃子方の大半を子どもが占めていることが主な特徴。三輪山では小学1年生から鉦を、中学生は太鼓、高校生以上は笛を担当。お囃子は10で現在でも口承により町内住民を中心に受け継がれている。



体験教室 (参加申し込み不要・無料・個人での参加もOKです)

能体験

～能の詞を唱えてみよう! 能舞台VR～

能「敦盛」のワンプレーズをみなさんと一緒に唱えたり、能「船弁慶」の弁慶役や太鼓方になった感覚をVRを通して体験することができます。奥深い能の世界に触れていただける体験教室です。

●所要時間:15分 ●定員:12名
●開始:12:45/13:15/13:45



ちび丸提灯作り体験

京提灯作りを楽しめる教室です。好きな和紙の色と柄を選んで、あなただけのオリジナルミニ提灯を作ることができます。

●所要時間:90分 ●定員:20名
●開始:12:30



組みひもミサンガ作り

丹後ちりめんの原料として使用されているシルク100%の好みの色糸を4本、組み合わせ、長さ約40cmのミサンガを作成することができます。

●所要時間:30分 ●定員:15名
●開始:12:30/13:10/13:50



金彩ハガキ製作体験

京友禅の金彩加工で古くから用いられる摺箔技法。その技術を用いて金彩加工を施したハガキを製作していただきます。6色ほど用意した箔を貼りわけ自分だけのとおきのハガキを製作しましょう。

●所要時間:15分 ●定員:12名
●開始:12:30/12:55/13:20/13:45



出演ゲスト

能「敦盛」(シテ敦盛 古橋正邦 ワキ蓮生法師 原陸、企画運営:能楽舎、協力:伝統音楽普及促進事業実行委員会)

平家の少年武将、平敦盛(たいらのあつもし)は僅か十六歳で源氏との戦いに参加し、神戸の一の谷で熊谷次郎直実(くまがいにじろうなおさね)に殺されました。その後直実はお坊さんになって名前を蓮生(れんせい)と変え、敦盛の命を奪ったことを悲しみ、心から弔いました。さて、能の舞台は蓮生が再び一の谷を訪れたところから始まります。敦盛の霊が現れ、最期の様子を再現します。そして蓮生は元の敵であっても、自分を弔ってくれてもはや仏様の前では友であると語り、更に弔いを頼んで消えてゆきます。笛を好んだ少年が戦いに巻き込まれ命を落とす悲劇。室町時代に、この能の作者である世阿弥は、戦の悲しさ、虚しさを能の作品で表現しました。



入場チケット取得方法等(無料)詳細は、
イベントHPをご覧ください

<https://t.livepocket.jp/e/4jk80>



お問い合わせ先

京都伝統文化の夢舞台運営事務局

(平日 10:00-17:00 土日祝休業)

メールアドレス: kyotoyumebutai@tts.co.jp

電話: 03-4540-4300

